

# さまざまな学びのツールを提供しています

## くわしく分析する

### 課題曲アナリーゼ特集 全1巻 ～楽譜を読み解く力を育てる～

各分野のプロフェッショナルによる課題曲の楽曲分析や指導の手引き。作曲家本人による解説も。



#### 購入方法 (2025年3月1日発売)

全国の楽器店にてお求めいただけます。一部お取扱いのない店舗がございますのであらかじめ在庫状況をご確認ください。

## 指導ポイントを学ぶ

### 課題曲説明会 (3月3日～4日)

演奏と指導で一線級のピアニストたちが、2025年度のコンペ課題曲を演奏し、ポイントを解説します。

※eラーニング登録者向けに当日ライブ配信も行う予定です。収録したコンテンツは編集後、後日eラーニングにて配信いたします。

【日時・場所】 浜離宮朝日ホール (東京・築地)

- ◆ソロ部門 音楽ホール  
3月3日(月) 11時15分～18時10分
- ◆デュオ部門 小ホール  
3月4日(火) 10時30分～13時35分

※時間は現時点での予定です。最新情報はウェブサイトにてご確認ください。

#### 【登壇者 (敬称略)】

ソロ：  
黒田亜樹、関本昌平、田村響、外山啓介  
デュオ：  
ピアノデュオドゥオール (藤井隆史&白水芳枝)  
瀬尾久仁&加藤真一郎ピアノデュオ



#### 【チケット】

2024年12月20日より  
ピティナ・ウェブサイトにて  
発売開始予定



ピアノデュオドゥオール (藤井隆史&白水芳枝)

瀬尾久仁&加藤真一郎  
ピアノデュオ

### 課題曲セミナー (3月初旬～：全国)

一流の講師陣が演奏を交えて課題曲のポイントを解説します。指導者の方はもちろん、プロの生演奏を聴く機会として出場者や保護者の方にもご活用いただけます。



### 課題曲公開レッスン (4月中旬～：全国)

本番直前の最後仕上げとして、また、より実践的な指導法を学びたい指導者の方に向けてワンランク上のレクチャーをお届けします。



全国の課題曲セミナー・公開レッスンはこちら

## イメージを豊かに

### 課題曲 YouTube 聴き比べ



※画像は2024年度のもので



ピティナのコンペを経験してきた若手注目のピアニストたちが、子供たちの級を中心とした課題曲を思い思いに熱演します。ひとつの曲に対して複数のピアニストの演奏を提示。(連弾等一部の曲では、種類の演奏のみの場合もございます。)

曲を知り、課題曲選曲のヒントとして、また、複数の演奏を聴くことで、自分の表現の可能性を探るヒントとして、ご活用ください。

(楽曲の曲想の理解を助け、解釈・演奏の参考例を提示するもので、これを模範とするものではありません。)

2025年3月1日、ウェブサイトにて公開予定です



# 「四期」が学べるピアノコンクール 2025年度 ピティナ・ピアノ コンペティション

※日程・課題曲については、3月1日以降に、ウェブサイトをご覧ください。 [ピティナ コンペ 検索 \(https://compe.piano.or.jp/\)](https://compe.piano.or.jp/)

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ) 〒170-8458 東京都豊島区巣鴨 1-15-1 宮田ビル3階

# ピティナ・ピアノコンペティションとは？

ピティナ・ピアノコンペティションは、1977年より続く世界最大規模のピアノコンクールです。2024年度は予選に27,768組が参加しました。すべてのピアノ学習者が、それぞれの学習段階とニーズに応じて、広く、深く音楽を学ぶ機会を提供しています。

## ♪「四期」の課題曲を通じて音楽を学ぶ

全国200か所以上で行われる地区予選からスタートし、地区本選、全国大会へと連なるコンクールのメインステージ。各地のホールで経験豊富な審査員の先生方のアドバイスをいただきながらステージで成長できる絶好の機会です。予選、本選を通じて「四期」(ソロのみ)の課題曲に取り組みながら、ピアノ学習を深めることができます。



## 年齢や目的に応じて活用できる3部門 (ソロ・デュオ・グランミュージック)

	未就学	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	高校卒業～22歳	23歳以上	40歳以上			
ソロ	A2級 (未就学)	A1級 (小2以下)	B級 (小4以下)	C級 (小6以下)	D級 (中2以下)	E級 (高1以下)	F級 (高3以下)	G級 (22歳以下)	特級 (年齢制限なし)	Pre特級 (年齢制限なし)		ソロ部門 (課題曲コース)		A1カテゴリー (23歳以上)	A2カテゴリー (40歳以上)	B1カテゴリー (23歳以上)	B2カテゴリー (40歳以上)	Cカテゴリー (55歳以上)	グラン ミュージック 部門 (自由曲コース)
										Jカテゴリー (中3～高3)		Yカテゴリー (高校卒業～22歳)							
デュオ	連弾初級A (2人とも小2以下)		連弾初級B (2人とも小4以下)		連弾初級C (2人とも小6以下)		連弾中級A (1人は中3以下)		連弾中級B (1人は高3以下)		連弾上級 (1人は22歳以下)		2台ピアノ初級 (2人とも中学3年生以下)		2台ピアノ中級 (2人とも22歳以下)		2台ピアノ上級 (年齢制限なし)		

## 2025年度に向けてお知らせとお願い

### 申込開始は4月1日、動画予選も併設

2025年度も4月1日より、予選は最大2地区まで申し込み可能。実地審査では一部の地区を除き当日中に証書と審査員の採点票を受け取れます。また、引き続き動画予選を行います(ソロ・デュオ部門のみ)。動画予選は日程に都合がつかない場合や近隣に適切な会場がない場合など、動画審査を希望する方のための予選参加形式としています。

いずれの予選も本選に進出した場合には、会場での実地審査を行います。

※2020年から続いている「課題曲チャレンジ」は現在「リニューアル」準備中です。ピティナ・ウェブサイトでの発表をお待ちください。

### 参加料金が変わります

参加料金を多くの級において500円～1,500円の範囲で増額いたします。詳しくは参加要項または2025年3月1日以降にピティナ・ウェブサイトをご確認ください。

### マイページの準備をお願いいたします

ピティナ・ピアノコンペティションでは、少しでもスムーズにお申し込みいただけるよう、お申し込み前に①マイページの作成 ②指導者の登録をお願いしております。

①ご家族でどなたもマイページを持っていない場合は、保護者の方がマイページアカウントを作成することを推奨しております(マイページの作成・ピティナIDの発行は無料です)。

②併せて、皆さまに指導者の登録をお願いしております。



マイページを作成するには



指導者登録のご案内



## ご参加いただいた方々の声

### コンペのリピーター！



稲沢朋華さん  
2024年度  
Pre 特級銀賞

今年からPre 特級は課題がハードになり不安が大きかったのですが、マスタークラスをきっかけに、先生方のご指導のおかげで初めてのコンチェルトへの楽しみが大きくなり、次のステージへ一緒に進む素晴らしい方々の大きな背中を見て元気をもらっていました。

### 動画予選を活用！

納得できるまで動画を撮るなかで、自分の演奏を、聞く人の立場で見つめ直すことができたのがよかったと思います。会場での演奏と同じような気持ちでチャレンジすることができました。



光森一馬さん  
2024年度  
B級本選優秀賞



開坂望生さん  
2024年度  
グランミュージック部門  
A1 カテゴリー第1位

今回、社会人として働きながらコンクールに出場することは、とても大きな挑戦でした。両立できるだろうかと不安になることもありましたが、限られた時間の中で「私だけが出せる音」を追求しながら練習を重ねました。

### 仕事と両立！

※ピティナ会報378号・377号(結果特集号)より転載・一部編集

## ご活用いただいた先生より

### 努力と挑戦、成長の舞台として

中村真弓先生(指導会員)



ピティナは、選べる曲数が多く、曲のレベルの幅が広く、魅力を感じています。短期間でたくさんの曲に取り組み、成長のよい機会だと捉えています。また、発表会では味わえないコンペの緊張感や達成感、悔しさ、喜びなど、色々な感情を体験することも心身の成長に繋がっていると思います。コンペに出場するからには結果も大切ですが、それよりも今自分のできる最高の演奏をめざして努力し、本番に臨むことが大切だと生徒たちには伝えていきます。

### 個性を大切に、共に学ぶ

長棟美貴先生(指導会員)



私の教室に通われる生徒さんたちは、皆ピアノが好きで、それぞれのペースで取り組んでいます。私自身もピアノを弾くことが好きなので、生徒さんと共に学び試行錯誤を繰り返すうちに、年々コンペティションに参加する方が増えました。出場する生徒さんの年齢の幅もA2級からD級と広がり、今年は初めて10名を超える参加者となりました。生徒さんと保護者様、そして指導者、それぞれの熱量が交わった時に発揮されるパワーは凄まじいものがあると感動した今期のコンペティションでした。

※ピティナ会報378号より転載

## 審査員より

### 心と体の健やかな成長のために

村井文先生(正会員)



コンペティションにおいて最も大切にしていることは「人を育てている」という気持ちです。これは審査員の立場であっても、ピアノ指導者の立場であっても同じです。本番ステージまでの計画を立て、自ら確認し、長い時間をかけて自分の音楽を作っていくことは、大人であっても難しいことです。それを年少のころより(もちろん保護者や指導者とともに)経験することは、ピアノの演奏技術を習得するのみでなく、今後成長していくあらゆる場面において糧となるでしょう。

時には、並々ならぬ努力をしたにも拘らず本番で思い通りにならないこともあります。しかし、私たち審査員や指導者は、たとえご本人が失敗だと思う演奏であっても、その先には(その先だからこそ)すばらしい演奏があることを知っております。それをお伝えし、サポートすることも私たちの大きな役割です。審査においては、短い時間の中で伝えたいこと全てを書くのは大変難しいことですが、コンペティションを通して、ピアノの演奏技術はもちろん、心と体の健やかな成長を祈りながら、これからも審査員を務めてまいります。

※ピティナ会報376号より転載

## コンプリート賞受賞者の声

植田理央さん(島根県/高2)



初めてコンペに参加したのは小学2年生の時、「挑戦してみない？」という先生からの勧めで参加しました。

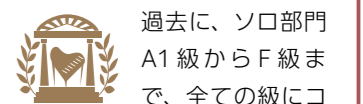
それから毎年コンペに参加する度に、審査員の先生方から細かい講評や指摘をいただき、ピアノの技術面だけでなく精神面でも成長することができました。練習期間に何度も挫折したり、曲の出来に悔んだりすることも多々ありましたが、本番が終わった時には「弾き切った!やり切った!」という達成感が次の参加へのモチベーションにもなりました。

学年が上がり、勉強や部活も忙しくなる中でF級まで参加できたことは、自分にとってとても大きな自信になりました。

コンクールへの参加を通して一つのことを継続してやりきる力をつけられたと思います。ピティナでの経験をこれからの大学受験やその後の人生に繋げていきたいです。

※ピティナ会報378号より転載

## A1～F級 コンプリート賞



過去に、ソロ部門A1級からF級まで、全ての級にコンプリート参加された方を表彰します。2025年度のコンペティションいずれかの部門・級に参加されることで、過去に遡って表彰対象となります。

※ピティナ会報378号より転載